

(No.2) Caritas-Seniorenzentrum Arnsberg

アルンスベルグ市カリタス老人施設

所在地: Ringlebstr. 27, 59821 Arnsberg,

Tel: 02931-8068、Fax: 02931-806421, www.caritas-arnsberg.de

施設責任者: Herr Hans Eickhoff

介護責任者: Frau Gundula Wenzel

(1) 1979年に創立したカトリック系のこの施設には、高齢者用、身体障害者用、子供ならびに家族用の施設、ケア付住宅がある。市の中心の静かなところに位置したこの施設では、高齢者も外出ししやすいことから、自分の力で社会と繋がりを保ちながら生活できる。

(2) 老人施設は、80人の長期滞在者、6人のショートステイ（約3～4週間）、12人のデイサービス患者を収容できる。現在90人の滞在者。医師、看護師、介護士、社会奉仕者（Zivildienst）などを含め、従業員は約100人、その他15人以上のボランティアの人も決まった任務についている。特に50歳から70歳のまでの女性が多く、患者の親戚代わりになっていることもある。設備としては、医療室、滞在者用個室ならびに二人部屋、食堂、キャフテリア、団欒室、体操室、患者の家族用宿泊室、礼拝堂がある。長期滞在者は自分の家具を持ち込むことができる。ケア付住宅には個人用23棟、二人用6棟あり、高齢者の自立生活を支援している。高齢者は種々のサービスを受けながら、安心して、しかも自分の意思によって生活ができる。

(3) 入所時には医師か介護保険の証明書が必要。1995年の介護保険制度以来、入所希望者数は減少。最近の傾向として、高齢者はできるだけ長く自宅でいろいろの介護サービスを受けながら暮らし、それが無理となった段階で施設に入る。以前は平均滞在年数が10年以上だったが、最近では3,4年である（入所希望者はウエイティングリストに載る）。認知症の患者は全体の75%で、これらの患者には特別な配慮を持った接し方が必要。そのために介護士は患者の現在の個人情報だけではなく、過去の生活をも知らなければならない。

(4) 長期滞在の費用は患者の介護度によって異なるが、月額2,500から3,500ユーロ。介護保険から支払われる額はこの半分程度。差額は自己負担。

(5) 日本人滞在者はいない。外国籍を持った患者は、ポーランド人、ロシア人など数人。それで施設側も10年前からこの国の人を介護士、世話人に採用している。これらの国の人々は一般的には、家族が高齢者を自宅で介護するが、今後この習慣も変わり外国籍を持った患者も増えるであろう。身体的介護以外にも細やかな配慮を持って対応できるよう、介護士、世話人は外国の文化、生活習慣などを学び、これに取り組む用意がある。

(6) 施設では様々なコース（体操、ダンス、歌、記憶力訓練、ゲームなど）や講演、散歩、遠足、音楽会、年間行事を提供。近くのカトリックとプロテスタントの教会と密接な関係を持ち、神父、牧師が施設に来て、礼拝や会合を行ったり、施設滞在者も教会を訪問する。

2008年11月調査